

自選二十句 (2023.4-2024.3)

大西孝志

湾奥とふ袋小路や大南風  
武蔵野の青き水脈額の花  
将門の馬は荒くれ走り梅雨  
日の向きに据え直したる大西瓜  
サルビアの一足早き日暮かな  
暑気払ひ老人なんて呼ばせない  
提案は直ちに却下秋暑し  
三番瀬二百十日の濁りかな  
湾奥は全き平ら二日月

一日のノルマ五千歩鰯雲  
墓標めくタワマンの列日短か  
暮れ早し瀉にくぐもる鳥の声  
古希とうに過ぎて初孫冬温し  
冬温し復路起点のプラコーン  
月冴ゆるスカイツリーの細身なる  
山茶花の笑ふしかない散らしやう  
山茶花や壊れしままの竹簀垣  
新町に干潟のなごり芦の角  
宝永の火口はゑくぼ山笑ふ  
春一番スカイツリーを揺すりけり